

～よくばり体験記(No.4 田んぼの草取り&黒米おにぎり試食)～

7月4日、草の入江(北山田地区)で、童話の里くす町黒米研究会の石井夫妻のご協力により、田んぼの草取り体験を行いました。体験指導者の石井由久雄さんから、雑草の種類や作業内容の説明を受けた後、参加者は田んぼに入り、しっかりと前かがみ姿勢で雑草を引き抜きました。

作業の後は、お待ちかねの黒米おにぎり試食タイム! 黒米ご飯に、石井さちよさんお手製のお惣菜や具をのせ、大きな海苔で包んでおにぎりの完成。お惣菜や漬物のどれもとても美味しくて「おかわりください!」の声が続出しました。お土産に食べる黒米甘酒もいただき、参加者みんなが大満足の笑顔でした。



草取りの様子



試食の様子

玖珠町長が「ベビーファースト宣言」

8月18日、日本青年会議所九州地区大分ブロック協議会の代表(中根竜会長ほか3名)が来庁され、当会議所が取り組んでいる「ベビーファースト運動」について、宿利町長に説明がありました。この運動は、今年6月から始めた取り組みで、妊産婦(夫)と社会のギャップを解消し、子どもをより産み育てやすい社会にしていくための運動です。

町長はこの運動に賛同し、「子育てを みんなで支える 童話の里」と書き込み、ベビーファースト宣言をしました。県内では、杵築市などに次いで4番目となります。

玖珠町では、昨年度子育て健康支援課を新設し、同時に子育て世代包括支援センターを設置しました。妊娠期から途切れ目のない子育て支援に、これからも取り組んでいきます。



左から、宿利町長、中根竜会長、彌田昌克総活躍社会確立委員会委員長

問 子育て健康支援課 子育て支援班 ☎(72)2022

一般コミュニティ助成事業で森地区コミュニティ運営協議会の備品を整備しました!

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として行うもので、コミュニティ活動備品の整備に対する助成事業です。

この事業を活用して、森地区コミュニティ運営協議会が、活動に必要な備品の整備を行いました。

今後のさらなるコミュニティ活動の推進が期待されます。



刈払機



テント

問 企画商工観光課 地域力推進班 ☎(72)9031